

東京工科大学情報セキュリティに関する基本方針

東京工科大学（以下「本学」という。）は、「生活の質の向上、技術の発展と持続可能な社会に貢献する人材を育成する」という基本理念のもと、より良い教育・研究環境を実現するために学内ネットワークやICTサービスを整備してきた。これにより、学生の個人情報をはじめとする様々な情報資産がコンピュータ上で扱われることが当然のこととなっており、特にクラウドサービスを利用した教育・業務関係のICTサービスを拡大している本学が保有する情報資産を取り扱う上において、「情報を漏らさない（情報の機密性）」「情報を改ざんさせない（情報の完全性）」「情報がいつでも扱える状態を保つ（情報の可用性）」の3つの要素（以下、「情報セキュリティ」という）をもって情報資産を保護することは、本学における教育・研究活動の継続という観点からも本学が担う重要な責務である。

本学は、情報資産の適切な保護を目的に情報セキュリティ水準の維持及び向上のため、ここに次のとおり情報セキュリティに関する基本方針を定める。

1. 本学の情報セキュリティに関する責任体制を明確化するとともに、広く学内に周知する。
2. 本学の情報資産を適切な情報セキュリティのもと優れた秩序と安全性をもって安定的かつ効率的に運用し、全学に供用する。
3. 本学における情報資産を利用する全ての者は、本学が担う責務を重く受けとめ、適切に情報資産を保護するとともに情報セキュリティの確保に努める。
4. 本学における情報資産を利用する全ての者は、情報セキュリティの重要性について共通の認識を持ち、適切に情報を取り扱う。
5. 本学は情報資産を利用する全ての者に対し、セキュリティ水準と技術レベルの向上を目指すべく、情報セキュリティに関する教育の充実を図るものとする。